

活動レポート

青年技術士交流委員会

文責：青年技術士交流委員会副委員長 木本光則

青年技術士交流委員会“初”の高校生を対象にした講演を実施 「技術士を知ろう！」～北海道札幌工業高校編～

1. 実施概要

開催日時：H28.11.16(水)9：50～11：40

講義内容：技術士について

技術士の仕事内容の紹介(講演2篇)

土木の仕事全般の紹介

対象者：札幌工業高校土木科 2年生 約80名

参加者：仁田、千葉、永井、須田、木本(記)

(以上、幹事)

高田、石黒(講師、技術士)

2. はじめに

今年は5校6対象で実施した青技交の「技術士を知ろう！」企画ですが、今回は初めて北海道札幌工業高等学校の2年生を対象に実施しました。土木科の学生が対象ということで技術士資格の説明と、実例を交えた技術士としての仕事紹介(2編)、さらに土木の仕事全般の紹介を行いました。

3. 技術士という資格、役割について

当会の委員長である仁田より、【技術士とは、技術士の役割】について解説し、高校生でも1次試験が受験できること、1次試験を早期に合格することで社会に出て役立つことなどを解説しました。



写真-1 講演を担当した4名(左)、川村先生(技術士、中央)と、真剣に耳を傾ける生徒たち

4. 技術士の仕事紹介(講演)

(1)公務員の仕事と技術士について

札工OBでもある札幌開発建設部に勤務する高田技術士の講演では、自分の職歴を交えて公務員という立場で取り組んでいる仕事、その中での技術士という資格の役割や重要性などを説明しました。またOBということで自身の学生時代にも触れ、学生時代の教科書は今でも大事に付せんを付けて活用している、学生時代の授業はとても重要な基礎知識になるなどを熱弁。学生たちは熱心に耳を傾けていました。

(2)建設会社(ゼネコン)の仕事と技術士について

続いて清水建設(株)に所属する石黒技術士より、自身の担当してきた現場での仕事と、技術士を目指したきっかけなどを紹介しました。ゼネコンならではのスケールの大きい仕事で、専門的な話になりがちなど、わかりやすい例示などはさみ、参考書だけでは解決できないことを解決するのが技術士の仕事、と解説。土木業界の魅力が学生たちにも伝わったのでは、と思っています。

(3)土木の仕事全般の紹介

講演最後は、筆者より土木の仕事全般を対象に、2人の講演で紹介しきれなかった様々な土木の仕事写真を紹介。様々な仕事があることを知ってもらい、学生たちが自分の将来を考える機会になれば、と考えています。

5. おわりに

最後の質疑応答も仕事のやりがいや女性が働くことへの質問などが活発に出て、予定時間をオーバーしてしまうほどでした。初の高校生対象でしたが、無事に成功することができたと思います。